

## 進められる「吾平地区かわまちづくり」



国と市では、吾平地区の自然や歴史・文化などの地域資源を生かした地域活性化のため、始良川沿い約7kmのサイクリングロード上にある3つの水辺拠点の整備と、拠点を活用した祭りや川とのふれあい事業を進めています。皆さんもサイクリングやイベント等で、川の魅力を体験しませんか。

軍神社周辺  
ひとが躍動する拠点  
(環境学習など)

月見橋上流  
産業が躍動する拠点  
(夏祭りなど)

更生橋〜古市橋  
まちが躍動する拠点  
(サイクリングロードなど)



# 育まれる「かわまちづくり」

～始良川が生む営みを見てみよう～

肝属川の支川である始良川は、吾平地区を約15kmにわたって穏やかに流れています。始良川流域では、住民や団体等による環境保全活動や、川の魅力を生かしたイベント等が、長年にわたり行われてきました。これらの活動もあり、平成29年には、国土交通省が推進する「かわまちづくり計画」に、大隅で初めて登録。源流から下流に至るまで、その魅力を探ってみましょう。



### 川で見かけるこれは何?

- ひかん樋管: 川の水位に合わせて水門を開閉する施設
- とこどの床止: 河川の洗掘を防ぎ勾配を安定させる施設
- おび魚道: 魚が上流へ上れるよう堰などに作る施設

### 始良川で出会える生き物たち

- アユ・ハヤ・ナマズなど
- ゲンゴロウ・ヤゴなど
- スッポン
- アオサギ・カモなど

苦野川産カワゴロモ (県天然記念物)



人と水生生物とが共存できる川に

始良川の魅力を紹介するうえで欠かせないのが、始良川河川愛護会の取り組みです。同会では長年にわたり、アユの放流やクリーン作戦など、川の環境保全活動を行政や住民などと連携しながら続けてきました。

「最近では、清流を求めて福岡からハヤ釣りに来る方もいます。始良川の魚は食べられるんですよ」と楽しそうに語るのは、会長の小浜昭二さん。

「私たちが川と暮らすうえで最も必要なのは、災害を防ぐための整備です。しかし川の生態系を維持するためには、水生生物の住みかを確保し、守っていくことも忘れてはいけません」

### クリーン作戦で住民の意識に変化が

吾平地区の住民や団体などが参加し、川の清掃活動を行う「始良川クリーン作戦」は、6月9日の開催で32回目を迎えました。当日は、多くの子どもたちが参加し、大人に混ざって、堤防などに落ちていたごみを、協力して拾い上げていました。

「この活動が始まった頃は、多くの粗大ごみが川に捨てられていましたが、川のごみは確実に減少しています」と小浜会長は力を込めます。「まさに『継続は力なり』。クリーン作戦に参加した子どもたちが、川を愛する心とともに育ってくれることが一番うれしいですね」

川は、生き物だけでなく世代を超えた交流も育んでいます。

